

取組の名称 生徒会主体の「いじめ根絶集会」の取組

1月24日（火）6校時

取組の概要 場所：更別中央中学校体育館

【ねらい】

全校いじめ根絶集会において、生徒がSNS等を含むいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局と美化委員会が中心となり、全校生徒を10グループに分け、テーマごとに意見交流を深めた。また、縦割りグループでリレー等の交流活動を行い、思いやりと協力し合う心の大切さを感じることができるようにした。

【生徒の感想】

友達が困っていても関わらないようにすることがあったが、友達を助けることで自分も人の役に立つことが分かり、これからは助け合っていきたいと思う。



【いじめ根絶宣言の説明の様子】



【グループ対抗活動の様子】

成 果

実施後のアンケートにおいて、「傍観者にならない。困っている人を助ける。」などの記述があり、他者を思いやることでいじめ根絶を目指す考えが浸透した。

取組の名称 「いじめ撲滅集会」と「全校ミニバレー大会」

12月16日（金）5・6校時

取組の概要 場所：大樹中学校体育館

【ねらい】

「いじめ撲滅集会」や「全校ミニバレー大会」を通じて、異学年交流による人間関係の広がりをもつとともにいじめの未然防止に向けた意識の醸成を図る。

【概要】

生徒会書記局と保健体育委員会がタイアップした「校内ミニバレー大会」を行った。さらに、大会終了後に「いじめ根絶に向けて、自分たちにできること」というテーマで全校生徒から意見を集約し、共有を図った。

【生徒の感想】

ミニバレーを通して他学年との交流を深めることができた。ミニバレーで経験した協力し合うこと、譲り合いを日常生活でも大切にするとよいと思う。



【開会式の様子】



【ミニバレーの様子】

成 果

大会終了後の生徒からの感想で、「相手の気持ちを考えて行動する」や「日頃から前向きな声掛けをする」といった記述があり、他者との良好な関係づくりの重要性について理解が深まった。

広尾町立広尾中学校

校長名 伊 澤 理 紀 全校生徒数137名

取組の名称 生徒会・学級役員による意見交流の取組

9月12日(月)～15日(木)

取組の概要 場所：広尾中学校

【ねらい】

生徒が主体的にいじめに考え、交流することを通して、いじめは絶対に許さないという態度の育成を図る。

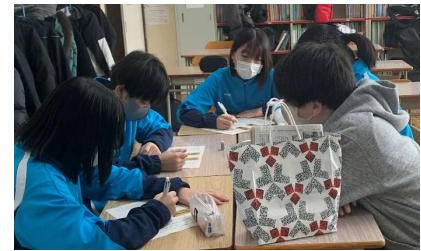
【概要】

生徒会書記局及び学級役員が中心となり、各学級で学級意見交流会を開催した。学校いじめ基本方針を説明するとともに、学校で実際にあった事例を紹介した後、相手の立場に立ったいじめの捉え方や相手のことを考えた言動の重要性について話し合った。

各学級で話し合われた内容は、生徒会書記局がまとめ、始業前の時間を利用して全学級に紹介した。

【生徒の感想】

いじめを受けたとき、一人で抱え込まないで、相談することや、いじめを発見したときは、誰かに相談したり注意したりすることが大切だと思った。



【いじめについて話し合う様子】

成 果 交流場面では、放課後の活動やインターネット利用時の自分たちの言動を見直し、改善を図ろうとする意見や、いじめられた際やいじめを発見した際の具体的な行動についての意見が多く挙がり、いじめに係る理解の深まりが見られた。

幕別町立幕別中学校

校長名 橋 本 靖 宏 全校生徒数79名

取組の名称 生徒会主体による「全校交流活動」

通年

取組の概要 場所：幕別中学校玄関前、体育館、校舎内各所

【ねらい】

生徒会主体のあいさつ運動を通して、生徒同士の絆を深め、いじめを未然に防ぐ環境づくりを目指す。

【概要】

各委員会で分担し、朝の「あいさつ運動」を毎日実施するとともに、月2回は幕別小学校の児童と「小中合同あいさつ運動」に取り組んだ。また、標語を募集し、全校生徒が挨拶の意義を考えた。

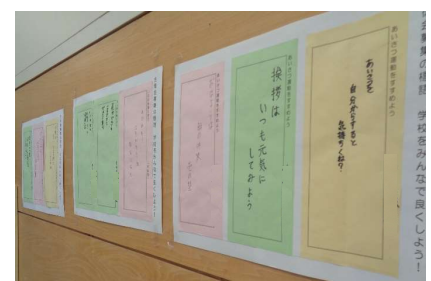
他にも、全校レクリエーションを通して交流し、生徒同士のよりよい関係づくりを推進した。

【生徒の感想】

挨拶を交わすことで、互いに元気をもらえ、登校が楽しくなる。標語を作成したり、考えたりすることで、もっと学校をよくしていこうという意識が高まる。



【「小中合同あいさつ運動」の様子】



【校内各所に掲示した標語】

成 果 生徒会主体による全体交流活動に取り組んだことで、学校の環境を自分たちの手でよりよくしようとする態度の育成が図られた。

取組の名称 「笑顔で過ごせる全校集会」の取組

12月13日(火)6校時

取組の概要

場所：糠内中学校体育館

【ねらい】

いじめ根絶のための取組として、全校生徒及び教職員で交流を行い、自分や他者のよさに気付き、互いを認め合うことを通して、日常からいじめの起こりにくい環境づくりと人間関係の構築を図る。

【概要】

各委員会で全員が楽しく参加できる全校集会を企画し、クイズや紙飛行機飛ばし、ドッジボールを行うことにより、チーム内で作戦を立てたり、お互いに考えを伝え合ったりすることで交流を深めた。

【生徒の感想】

ずっと一緒に過ごしてきたが、新たな発見があり、嬉しかった。仲間の大切さを感じることができた。



【クイズの様子】



【紙飛行機飛ばしの様子】

成果

異学年や教職員が共に活動する全校集会活動を通して、自分や他者のよさに気付き、認め合う関係を構築するとともに、悩みや相談などを学校全体で気兼ねなく話しやすい環境をつくることができた。

取組の名称 生徒会主体の「いじめ根絶アンケート」の取組

12月

取組の概要

場所：札内中学校校内

【ねらい】

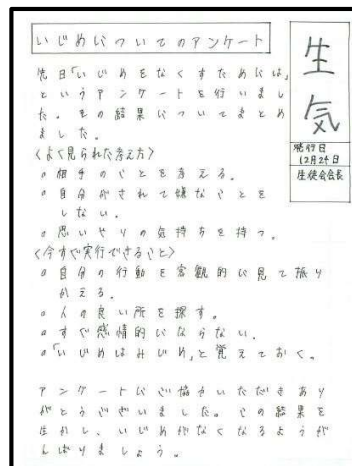
生徒が主体的にいじめ根絶に向けて取組を考えることを通して、生徒のいじめについての理解を深め、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会三役が中心となり、全校生徒を対象に「いじめをなくすためにはどうしたらいいのか」というアンケートを実施した。集めた意見は、生徒会通信「生氣」により、全校生徒と共有した。

【生徒の感想】

全校生徒の意見から、札内中学校としてのいじめに対する考え方をまとめることができた。また、今すぐ実行できることについて考えてもらい、全校生徒にまとめた内容を知らせることができてよかった。



【生徒会通信 生氣】

成果

全校生徒へのアンケートを実施することで、学校全体や学年ごとにいじめに対する考え方を見取るとともに、言動に対する注意喚起やいじめ撲滅への意識高揚が図られ、いじめは絶対に許されない風土の醸成につながった。

取組の名称 生徒会主体の「いじめ根絶会議」の取組

11月30日(水) 5校時

取組の概要 場所：札内東中学校各教室

【ねらい】

生徒がいじめの問題を自分事ととらえ、主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会が主体となって開催した「いじめ根絶会議」において、いじめに係るテーマで話し合いを進めた。意見を記入した付箋をKJ法を用いて模造紙に貼った後、議論を深め、グループの意見を全体で共有した。

【生徒の感想】

「自分がされたら嫌なこと」、「自分がしてもらって嬉しかったこと」を出し合い、互いの体験や考えなどを共有することができ、とてもよい機会になった。



【執行部がいじめ問題を提起する様子】



【KJ法を用いたグループ協議の様子】

成 果 「いじめ根絶会議」実施後のアンケートにおいて、「いじめは絶対に許さないという気持ち」が、より一層強くなった」、「いじめを見かけた際は、先生に知らせる」などの記述があり、いじめ根絶に対する意識の高揚が図られた。

取組の名称 「絆づくりメッセージ」を振り返ろう

12月21日(水) 5校時

取組の概要 忠類中学校各学級教室

【ねらい】

生徒会活動の取組として考案した「絆づくりメッセージ」を振り返ることを通して、いじめ根絶へ向けた態度の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局と各学級執行部が連携し、学期始めに作成した「絆づくりメッセージ」を基にこれまでの生活を振り返り、今後気を付けることについて話し合った。話し合われた内容は学級執行部が用紙にまとめ、全校で共有した。

【生徒の感想】

仲間たちのよさを積極的に認めるよう、みんなで気を付けていくことが大切だと感じた。



【話し合い活動の様子】



【自分の考えを伝え合う様子】

成 果 活動内容を振り返ることで、「日常の生活こそ大切にしたい」という友だちとの関わり方についての課題を強く意識した記載が見られるなど、学校全体で絆づくりの重要性についての理解が深まった。

取組の名称 生徒会主体の「生徒集会」の取組

12月21日（水）5校時

取組の概要 場所：池田中学校体育館

【ねらい】

異学年とのレクリエーションを通して、仲間と協力するよさを実感することにより、望ましい人間関係の構築を図る。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、「知ろう相手を、楽しもう皆で」をテーマに、全校生徒を18グループに分け、「ワードウルフ」や「事件はなんだ」等、対話によって解決できるゲームを行った。

【生徒の感想】

生徒会が中心になって頑張ってくれたおかげで、レクリエーションでも、楽しみながら他の学年と交流することができてよかった。



【アイスブレイク活動の様子】



【レクリエーション活動の様子】

成 果 異学年の生徒同士のコミュニケーションを図るきっかけにすることができた。互いのことを知り、互いに大切な存在であるということに気がつくことで、いじめの未然防止に向けた学校風土の醸成を図ることができた。

取組の名称 「ピンクハート活動」

12月19日（月）～1月20日（金）

取組の概要 場所：豊頃中学校

【ねらい】

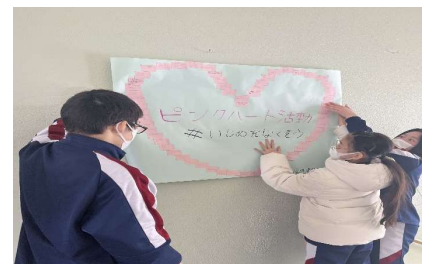
生徒同士が親切的な行為について考えることを通して、目指す生徒像「思いやりの心を持ち、よりよく他者との関係性を構築できる生徒」の育成を図るとともに、いじめのない生徒全員が安心して生活できる学校をつくる。

【概要】

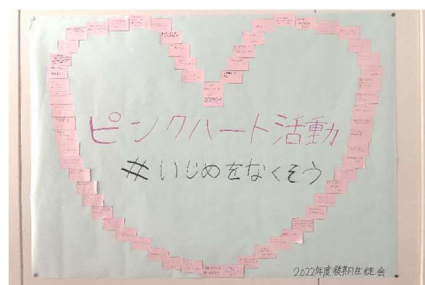
生徒会三役が中心となり、全校生徒が学級で見つけた「親切的な行為」を書き、愛情や幸福の意味をもつハート型の掲示物としてまとめ、全校生徒の目に付く場所に掲示し、共有した。

【生徒の感想】

「親切的な行為」を意識することで、周りの人への思いやりの気持ちに気付くことができた。これからも継続して、いじめをなくしていけたらいいと思う。



【生徒会が掲示する様子】



【ピンクハート運動の掲示物】

成 果 実施後のアンケートでは、「普段は気付くことのなかった親切的な行為に気付くことができた。」、「お互いを認め合う意識が高まった。」などの記述が見られ、思いやりの心を持ち、よりよく他者との関係性を構築する生徒の育成につながった。

取組の名称 「あいさつ運動」と「浦中レク」の取組

通年

取組の概要 場所：浦幌中学校

【ねらい】

生徒会が中心となり、「あいさつ運動」や「浦中レク」を通して、よりよい人間関係の醸成を図ることにより、いじめの防止に役立てる。

【概要】

「あいさつ運動」では、毎朝の活動に加えて、「あいさつ強化週間」を設け、授業の号令時等における挨拶の質を高める取組を行った。

「浦中レク」は、生徒アンケートを基に、異学年レクリエーションを生徒会が企画・運営した。

【生徒の感想】

接する機会のない生徒同士が関わりをもてました。今後も学年を超えた交流の場を作っていきたいです。



【あいさつ運動の様子】



【レクリエーションの様子】

成 果

「あいさつ運動」時だけでなく、普段の生活の中で、相手を意識した挨拶を心掛ける生徒の姿が多く見られるなど、よりよい人間関係の醸成やいじめの未然防止につながる取組とすることができた。

取組の名称 生徒会主体「いいねプロジェクト」の取組

10月25日（火）2校時

取組の概要 場所：上浦幌中学校生徒会室前

【ねらい】

生徒会が中心となり、互いのよさを認め合う「いいねプロジェクト」の取組を通して、思いやりの心や相互理解を大切にする心の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局が全校生徒に用紙を配付し、友達にしてもらってうれしかったことなどを記入した。その後、書記局が生徒会室前に掲示し、全校が見ることができるようにした。

【生徒の感想】

生徒会室前に掲示し、全校で交流することにより、互いの良さを知ることができ、笑顔になってくれたことが嬉しかった。



【いいねプロジェクトの様子】



【記入呼びかけの様子】

成 果

本活動を通して、生徒の感想から、互いを認め合うことの大切さや意義を実感したという意見が多く挙がり、思いやりの心や相互理解を大切にする心の育成が図られた。

取組の名称 生徒会主体のコンサートによる絆づくり

12月22日(木) 昼休み

取組の概要

場所：本別中学校オープンスペース

【ねらい】

吹奏楽部によるクリスマスコンサートの開催を通して、全校生徒が一体感を感じることができるようになることにより、絆づくりを図る。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、昼休みの時間を利用し、吹奏楽部の発表に全校生徒が参加できるようにした。吹奏楽部の練習成果を発揮する貴重な場とするとともに、自然と湧き出る拍手で一体感を感じることができた。

【生徒の感想】

七夕やクリスマスなど、生徒会はいつも全校生徒に参加を呼びかける活動を行っているので、学年の垣根を越えたつながりが生まれていると感じる。体育祭の縦割りも絆づくりに役立っていると思う。



【コンサートの様子】

成 果

生徒から、異学年交流のよさを実感している感想が多く挙がり、全校の一体感をより深め、いじめの未然防止に係る取組となった。また、短時間で行うことができ、時間と空間を最大限に活用した企画となった。

取組の名称 生徒会主体「一言あいさつ運動」の取組

通年

取組の概要

場所：本別町立勇足中学校体育館

【ねらい】

生徒のコミュニケーションを促す活動を通して、すべての生徒が安心して過ごすことができる風土を醸成する。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、毎朝、挨拶に季節にあった一言や体調を気遣う一言などを付け加える「一言あいさつ運動」を行った。まずは、職員室で先生方への「一言あいさつ」をし、その後全教室で「一言あいさつ運動」を行った。

【生徒の感想】

元気に挨拶を交わすことで互いの印象もよくなり、人間関係が円滑になる。これからも笑顔であいさつし、お互いに認め合える学校にしていきたい。



【あいさつ運動の様子】



【取組の成果を報告する様子】

成 果

お互いの顔が見えることは、小規模校・地域の大きな強みである。挨拶をスタートに相手を認め合うことで、よりよい人間関係を築くことができ、いじめの未然防止につなげることができた。

取組の名称 「あいさつ運動」の取組

通年

取組の概要 場所：足寄中学校

【ねらい】

生徒同士が進んで挨拶することを通して、異学年交流の機会を創出し、全校生徒の心を通い合わせ、いじめを未然に防ぐ環境づくりを図る。

【概要】

生徒会執行部が中心となり、休み時間に校内をまわって挨拶をした。取組の重点として、相手に聞こえる声と相手の顔を見ることを呼び掛けることで、よりよいコミュニケーションを図った。

【生徒の感想】

自分も相手も笑顔で元気になれるような挨拶を心がけた。学校生活をよりよくするには、自分たちで考えることが大切だと分かった。



【あいさつ運動の様子】



【異学年で交流する様子】

成 果 自ら挨拶する生徒が増え、休み時間だけでなく授業中も活気あふれる生徒の様子がみられるようになった。また、異学年との交流においても、挨拶から自然にコミュニケーションを図ることができた。

取組の名称 生徒会主体の「いじめ撲滅宣言」の取組

4月28日（木）6校時

取組の概要 場所：陸別中学校

【ねらい】

全校集会による「いじめ撲滅宣言」において、生徒がいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめは絶対に許さない態度の醸成を図る。

【概要】

生徒会書記局が体育館で全校集会を開き、本校における「いじめ撲滅宣言」を発表した。その後、教室にて、生徒一人一人がいじめをなくすための決意を記入した。決意書は校内に掲示し、全体で共有した。

【生徒の感想】

相手のことを考え、みんながよりよい学校生活を送れるよう意識していこうと思う。



【「いじめ撲滅宣言」の様子】



【決意記入の様子】

成 果 生徒が記入した決意書には、「相手が傷つかない行動を心がける」や「友達が嫌がっていたら、勇気をもって助ける」などの記述があり、一人一人のいじめ根絶に向けた思いを育むことができた。

取組の名称 生徒会主体「いじめ根絶ころあつたかCM」の取組

12月6日(火)～12月8日(木)

取組の概要 場所：帯広第一中学校

【ねらい】

生徒がいじめに対して、主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、「いじめ根絶ころあつたかCM」を作成した。「一中が笑顔になるとき」という第3学年からアイデアを集めたオリジナルソングも作成した。朝のあいさつ運動で、CMや歌を流し、全校生徒へいじめがない、笑顔あふれる学校づくりをしようというメッセージを呼びかけた。

【生徒の感想】

一人一人が、笑顔あふれる生活を送ることでいじめは根絶できると思う。日常生活の何気ない言葉や行動を大切に生活していきたい。



【生徒総会での活動の様子】



【CM上映の様子】

成 果 実施後のアンケートでは、「いじめを見たら勇気を出して声を掛けたり、先生に相談したりしたいと思う」などの記述があり、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

取組の名称 生徒会主体の「いじめ根絶集会」の取組

通年

取組の概要 場所：帯広第二中学校・校区

【ねらい】

中校区内の小・中学校において、児童会や生徒会の自主的な「いじめ根絶」活動を通して、地域一丸となっていじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会及び児童会が中心となり、各小・中学校のいじめ根絶に向けた取組内容を交流し合った。中学校では、全校生徒による地域の清掃活動について報告し、各学校の取組をヒントに更なる活動の充実につなげた。

【生徒の感想】

地域の小・中学校が、お互いの取組を知ることができて、とても参考になった。中学校がリーダーシップをとり、地域からいじめをなくしたい。



【清掃活動の取組の様子】



【集会の様子】

成 果 小・中学校のいじめ根絶の取組を交流したことにより、校区内でのいじめ根絶の意識が高まった。小中連携によるいじめ根絶の取組を進めることで、一貫していじめを絶対に許さない態度の育成を図ることができた。